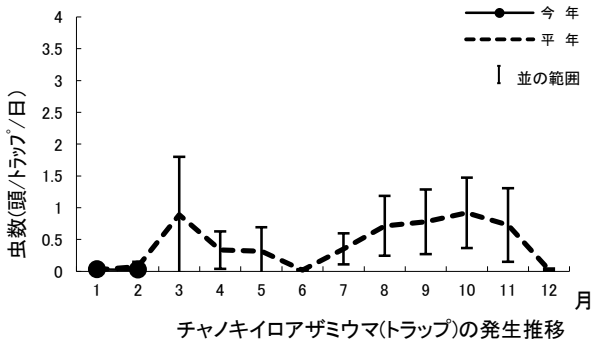
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
2 月の発生量（現況）	並		
3 月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	トラップの誘殺虫数の平年の発生推移から、2月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

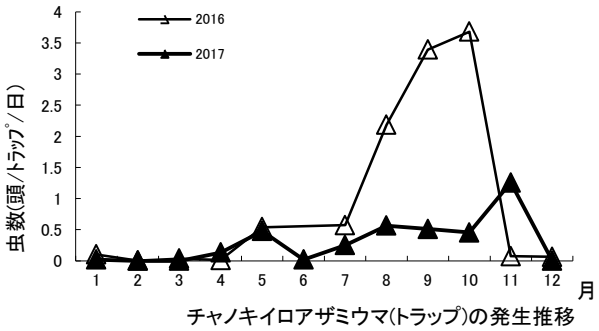
・ 2月の黄色粘着トラップへの誘殺虫数(頭/トラップ/日)は0.1頭未満(前年0.1頭未満、平年0.1頭)と平年並であった。

(今年のデータ)



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

(過去2年のデータ)



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

防除のポイント

・開花期以降は本種が増加しやすいので、早期発見・早期防除に努める。
・開花中に薬剤散布を行う場合は、受粉昆虫に影響のない薬剤を選択する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・キダチコミカンソウなど、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・不要な新梢は、施設外に除去する。
・平成29年度病害虫発生予報第５号（平成29年７月27日付）コラム参照。

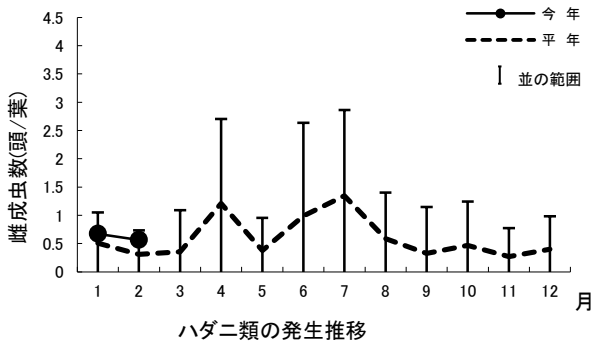
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② ハダニ類		
2 月の発生量（現況）	並		
3 月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	雌成虫数の平年の発生推移から、2月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

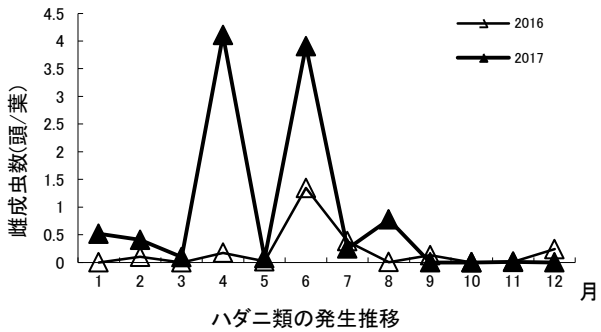
・ 2月下旬の調査の結果、成葉の葉当たり雌成虫数は0.7頭(前年0.5頭、平年0.5頭)と平年並であった。発生種はマンゴーツメハダニであった。

(今年のデータ)



ハダニ類の発生推移

(過去2年のデータ)



ハダニ類の発生推移

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・平成29年度病害虫発生予報第5号(平成29年7月28日付)コラム参照。